

—— シンポジウム ——

蒲生干潟と防潮堤

～自然を生かした防災計画と町づくりを考える～

干潟と後背地を分断するように建設される宮城県の巨大防潮堤計画。

その後背地に残る湿地や草地を埋め立てて事業用地にするという

仙台市の区画整理事業。

少しずつ再生してきた干潟生態系の存続に

今、赤信号が灯っています。

震災後の蒲生干潟の自然と生物の回復過程を報告し、

干潟生態系の存続をはかりながら、

効果的な防災、減災を行うことが可能かどうか、

他地域の具体例を元に、

会場の皆さんと考えてみたいと思います。

21世紀の日本、

これからの自然と

人間生活の共存の在り方について

一緒に考えてみませんか。

日時 2014年 **11月9日**〔日〕

13:30～16:30

会場 **エル・パーク仙台
セミナーホール 1,2**

仙台市青葉区一番町4-11-1 仙台三越定禅寺通り館 5階

入場料 **無料**

■実施団体：蒲生を守る会

■協働団体：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

■協賛： 損保ジャパン日本興亜

■後援：仙台市（申請中）仙台市教育委員会（申請中）

蒲生干潟と防潮堤 ～自然を生かした防災計画と町づくりを考える～

- 基調講演「自然の地形を生かした防災、減災の国内外の動向と具体例」
九州大学大学院工学研究院准教授 清野聡子先生
- 報告1 「震災後の蒲生干潟—地形と生物の回復過程」 蒲生を守る会
- 報告2 「蒲生に・楽しい・防災公園を！」 高校生で考える防潮堤の会
- 全体討論「干潟と防潮堤、区画整理事業と町蒲生の共存のあり方を考える」

- 開催日時…… 2014年11月9日(日) 13:30～16:30
- 会場…… エル・パーク仙台 セミナーホール1、2
(仙台市青葉区一番町4-11-1 仙台三越定禅寺通り館 5階)
- 参加費…… 無料
- 参加対象…… 自然や生きものに興味のある一般市民
- 定員…… 150名
- 申込方法…… 参加申込書に記入事項を明記の上、申込先まで電話あるいは、FAX、メールにてお申込ください
Save Japan プロジェクト HP、申込フォーマットからも申込可能です (http://savejapan-pj.net/)
- 申込締切…… **11月7日(金)** ※座席に余裕があれば当日参加も可能です。
- お申込・お問い合わせ…
認定NPO法人 杜の伝言板ゆるる
仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田 B6
TEL : **022-791-9323** FAX : **022-791-9327** E-mail : **npo@yururu.com**
URL : **http://www.yururu.com**

SAVE JAPAN プロジェクト 2014

47都道府県のNPOと地域の皆さま、損保ジャパン日本興亜と一緒に、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。損保ジャパン日本興亜が寄付を行い(※)、地域の環境NPOやNPO支援センター、日本NPOセンターと協働で、市民参加型の体験イベントを開催します。参加募集の案内や、開催報告など随時専用サイトに掲載。地域みんなで参加できるイベントを目指します。

(※)損保ジャパン日本興亜の自動車保険のお客さまにご契約時、「Web 証券」や「Web 約款」を選択いただいた場合や自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことにより、環境NPO などへ寄付を行います。

シンポジウム 参加申込書

ふりがな		住 所 〒..... TEL..... FAX.....
氏名		
Eメール アドレス		
ふりがな		住 所 〒..... TEL..... FAX.....
氏名		
Eメール アドレス		

※いただいた個人情報は、本シンポジウムの実施及び当団体の講座のご紹介以外には、使用いたしません。

FAX 送信先 ➡ 022-791-9327 (認定NPO法人 杜の伝言板ゆるる)